

パン画像識別システムで レジ業務を効率化

ブレイン

情報システム開発のブレイン（本社・兵庫県西脇市、神戸壽社長）は、同社が昨年からのベーカーリーへの導入を提案しているパン画像識別システム「ベーカーリースキャン」の「無料お試しキャンペーン」を実施する。

「ベーカーリースキャン」は、パンを複数並べたトレーをレジカウンターの所定の場所に置くと、それぞれのパンの値段と種類をカメラで一括識別するシステム。

1枚のトレーにのせたパンの個数がいくつであっても約1秒で判別が可能で、パンの名前を一つひとつ入力する場合に比べ、レジ精算が効率的になるメリットがあるという。また、店員が

一つひとつのパンの名前を覚えなくても良いため、接客に余裕が生まれ、サービスの向上が見込めるという。

同社は、2010年度の経済産業省戦略的基盤技術高度化支援事業に採択され、「ベーカーリースキャン」の開発に取り組んできた。昨年9月から「ドンク nonowa 西国分寺店」にテスト的に導入し、モニター実験を行っている。「無料お試しキャンペーン」では、30社限定で「ベーカーリースキャン」を無料で貸し出す。申し込み受付は4月9日に開始している。

問い合わせは、電話0795・23・5510へ。



パン画像識別システム「ベーカーリースキャン」